

「ものづくり」への挑戦—私どもも応援します—

工作センター(岡山理科大学)
滝 農彦・織田 纂・林 貞義

1. 開発目的

「実験するのにこんなものが出るかな」とポンチ絵を見せられる。「何々、ここはどうなっているの」と研究者と一緒に図面を引いてきたのが、(図-1)。製作完了・組み付け後、うまく作動してニンマリ。NCマシン(図-2)がフル稼働してくれました。

「こんなロボットが作りたい」「こどうやってつくついたらいいの?、こうすれば加工しやすいし、動きがスムーズになるよ」。ちょっとした指導で、学生たちが作り上げたロボットの活躍振り(図-3)を見るのは実に楽しい。

「盗難防止策を講じようとしたら結構高い料金を要求された。なんとかならぬか」。うまく端材を組み合わせて(図-4)の装置を作り上げ、事務の方々に喜んでいただきました。この技術、実はタービン翼を止める先端技術を応用したもの。

工作センターはものづくりのメッカとなるべく日々努力を続けています。その熱い気持ちはただひとつ「皆さんが良い仕事出来るよう、工作を通してお手伝いすること」なのです。



(図-1)



(図-2)



(図-4)



(図-3)

2. 主要設備の概要と特徴

機 械 名	性 能		機 械 名	性 能	
中型普通旋盤	520×1500	32~2000rpm	帯鋸版	225~300mm	φ300
縦型NCフライス盤	720×310×450	60~1800rpm	コンターマシン	500×600mm	300mm
縦型フライス盤	600×250×360	60~1800rpm	切断機(シャーリング)	刃長1250mm	Max 4mm
横型フライス盤	600×250×360	60~1800rpm	中型グラインダー	300×32×25.4	
小型普通旋盤(5台)	360×800	83~1800rpm	小型グラインダー	205×19×25.4	
ラジアルホール盤	620×400	8.8~1500rpm	アーク溶接機(3台)	200V	φ3
卓上ホール盤(4台)	450mm	400~3000rpm	スポット溶接機		300mm
ホブ盤	3~160mm		炭酸ガス溶接機	200V	φ3
その他小型機械	約10台		万力(バイス)15台		